

平成 27 年度

事業報告書
決 算 書

一般社団法人 静岡県発明協会

平成27年度事業報告

会員数 平成27年4月 1日現在 法人会員81 個人会員52 賛助会員9 計142
 平成28年3月31日現在 法人会員81 個人会員58 賛助会員7 計146

1. 発明の奨励に関する表彰及び展覧会

①全国発明表彰

本発明表彰は、皇室より毎年御下賜金を拝受し、そのご趣旨に沿い、発明の奨励、育成を図り、我が国の科学技術の向上と産業の発展に寄与するため、発明協会が主催し、文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会及び朝日新聞社の後援を得て、全国を対象に、独創性に富む極めて優れた発明を完成された方々及び発明の指導、育成に貢献された方々等の功績を称え、表彰している。

全国より多数の応募、推薦があり、本県からは2社3件を推薦し、1件が下記賞を受賞した。

平成27年度全国発明表彰式

日 時 平成27年6月17日（水）

会 場 ホテルオークラ東京 別館2階「オーチャードルーム」

平成27年度全国発明表彰受賞者

受 賞 名	応募発明・創作の名称	会 社 名
朝日新聞発明賞	生音再現技術を搭載した金管楽器用消音器の意匠	ヤマハ株式会社

②関東地方発明表彰

本表彰は、地方において優秀な発明と認められると共に、その実施効果が高く地域産業の向上に寄与された方の功績を顕彰するものである。

本年度の表彰受賞総数は184件で、うち本県関係は下記の一覧のとおり8社13件を推薦した。

平成27年度関東地方発明表彰式

日 時 平成27年11月13日（金）

会 場 宇都宮東武ホテルグランデ（宇都宮市本町5-12）

平成27年度関東地方発明表彰受賞者一覧

受 賞 名	発 明 の 名 称	受賞者名	会 社 名
文部科学大臣発明奨励賞	空気調和機のハイブリッド節電技術	関 辰夫	三菱電機株式会社
		杉山 大輔	
		田辺 薦正	
静 岡 県 知 事 賞	低待機電力制御搭載パッケージエアコン	加藤 央平	三菱電機株式会社
		涌田 尚季	
		松下 真也	
		大森 崇言	
		柴 広有	
静岡県発明協会会長賞	回転速度可変形無給油式スクリュー圧縮機	西村 仁	株式会社日立産機システム
		太田 広志	

静岡県発明協会会長賞	冷凍装置のモータ制御定数オンライン同定	栗田 佳明	日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社
		安藤 達夫	
		高塚 邦明	
		大石 孝	
		笠原 励	
		木下 健	
		三浦健太郎	
発 明 奨 励 賞	トラック用オールLEDリアコンビネーションランプ	山田 謙二	株式会社小糸製作所
		池谷 浩基	
発 明 奨 励 賞	モータ固定子の電源供給端子の自動組立技術	加藤 丈晴	三菱電機株式会社
		松田 茂	
		山本 峰雄	
発 明 奨 励 賞	電圧検出装置	半田 正人	三菱電機株式会社
		谷藤 仁	三菱電機エンジニアリング(株)
発 明 奨 励 賞	樽生ビールディスペンサーのカランに装着する部品	武井 義明	サッポロビール株式会社
		杉山 尚明	
		成田 秀一	
発 明 奨 励 賞	介護用ポジショニングクッション	櫻川 智史	静岡県工業技術研究所
		鈴木 敬明	
		井木 英之	株式会社丸井商事
発 明 奨 励 賞	ワーク硬度計測装置	鈴木 英夫	本田技研工業(株)
発 明 奨 励 賞	ワーク作業システム	村上 正俊	本田技研工業(株)
		豊巻 健太	
		藤森 毅	Honda Transmission Mfg. of America, Inc.
発 明 奨 励 賞	空気調和機の暖房・冷房定格能力比	長澤 敦氏	東芝キャリア株式会社
発 明 奨 励 賞	空気熱源式循環加温ヒートポンプ装置の除霜運転	浅利 峻	東芝キャリア株式会社
		岡司 貴宏	
		遠藤 隆久	

2. 青少年の創造性開発及び育成

①学生児童発明くふう展・未来の科学の夢絵画展

当協会と静岡市こどもクリエイティブタウンの共催、静岡県・県教育委員会・関東経済産業局・(公社)発明協会・日本弁理士会・市教育委員会・県市長会・県町村会・(公財)静岡県産業振興財団、各報道機関の後援により、「第63回静岡県学生児童発明くふう展」と、「第38回静岡県未来の科学の夢絵画展」を開催した。

会 期 平成27年10月31日(土)～11月8日(日) (表彰式11月8日)

会 場 静岡市こどもクリエイティブタウン “ま・あ・る”

ア 第63回静岡県学生児童発明くふう展

我が国の将来を担う児童生徒に、発明くふうの楽しさを体得させるとともに優れた発明くふう作品を顕彰することにより、創造性豊かな人間形成を図る。

	応募数	入選数
小学生	40点	15点
中学生	29点	15点
合計	69点	30点

上記県展で入選した作品の内から、小学生10点、中学生10点を第74回全日本学生児童発明くふう展に推薦出品し、次の方々を受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
入選	めざましがんばるくん	浜松市立和田小学校	小1	小寺由希菜
入選	介助用トイレトーパーホルダー ポンでカッターⅡ	清水町立清水小学校	小4	坂田 峰明
入選	おばあちゃんも安心ピポパポマシーン	富士市立大淵第二小学校	小5	石川 楓花
入選	からまない!「より」がなくなる!紙ひもだし機	浜松市立都田中学校	中2	本多 知佳
入選	しわのつかない制服入れ	富士市立元吉原中学校	中3	仲神 舞春

イ 第38回静岡県未来の科学の夢絵画展

未来の科学に関する夢を絵画として表現させるとともに優れた作品を顕彰することにより、次代を担う児童生徒の科学的な探求心と創造力の伸長を図る。

	応募数	入選数
小学生	35点	23点
中学生	3点	2点
合計	38点	25点

上記県展で入賞した25点を、全国展の第38回未来の科学の夢絵画展へ推薦し、次の方が受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
NHK会長賞	心のクリーニング屋さん	静岡市立蒲原西小学校	小2	松永 悠伽
優秀賞	事故の無い町	湖西市立岡崎小学校	小4	枝松 遥
優秀賞	くちびる先生	湖西市立岡崎小学校	小6	田中 夕也
奨励賞	魚の服を着て海をたんけん	湖西市立鷺津小学校	小2	佐藤 ほの

ウ 後援

児童の創造性開発育成のため、下記に対し後援した。

- 1) 第50回富士市発明くふう展後援
- 2) 第29回島田市小中学生アイデア工作展後援
- 3) 第33回湖西発明くふう展並びに第22回湖西未来の科学の夢絵画展後援
- 4) 第37回浜松市小・中学生発明くふう展後援

3. 知的財産権制度の普及啓発

県及び関東経済産業局から受託した産業財産権に関わる事業を実施し、産業財産権制度の普及啓発に努めた。

① 知的財産流通促進事業（県からの受託事業）

今年度は、「大手企業知的財産マッチングへの参加呼び掛けや個別相談参加企業へのフォローを行って、大手企業の開放特許の流通実績を作る。」ことを活動方針の第1に掲げたが、秘密保持契約の1件だけで、実施許諾契約に漕ぎ着けた案件は無かった。尤も、第2、第3に掲げた「同個別相談参加企業のフォローの際、大手企業の開放特許が適合しない場合には、県有特許や大学、中小個人の開放特許や技術を紹介する。」「目先の特許案件・特許流通だけを考えず、

技術を持つ企業・人を紹介したり、相談や共同研究等できそうな大学や公設試を紹介する。」に関しては、大手企業の開放特許のマッチング崩れから工技支援センター職員を伴っての6件を含め、県絡みの案件で16件のマッチングを行うことができた。「知財総合支援窓口の窓口支援担当からの連携要請も積極的に受けて、新規支援先企業や新規案件を獲得する。」に関しては、同事業下での専門家相談と知財アドバイザーの活用が昨年度以上に強化されたので、それほど新規支援先企業や新規案件の獲得には至らなかった。「成約案件の事業化状況を問い合わせるなどして、成約案件の事業化に向けての支援や新たなニーズを発掘する。」に関しては、リピート訪問し易い企業に限定されてしまった。

活動項目別の実績等数値は下表のとおり。

活動項目	目 標	実 績	達成率	前年度実績比	参考 (H26 年度)
訪問企業件数	300	314	105%	96.9%	324
来訪指導件数	60	74	123%	115.6%	64
マッチング件数	40	44	110%	129.4%	34
成 約 件 数	18	16	89%	106.7%	15
事 業 化 件 数	7	4	57%	133.3%	3
講習／講演等	30	50	167%	172.4%	29
合 計	455	502		107.0%	469

実施体制：特許流通アドバイザー 1名

②知財総合支援窓口（特許等取得活用支援事業）関東経済産業局からの受託事業

中小企業等が抱える知的財産権に関する悩みや課題をワンストップで解決できる支援を行うため、知財総合支援窓口を設置した。

ア 支援の対象

中小・ベンチャー企業及び個人事業主、創業予定の個人（以下、「中小企業等」という。）を対象として実施した。

イ 実施体制

中部（本部）2名（常勤1名、非常勤1名）
 東部（沼津支所）1名（常勤）
 西部（浜松支所）1名（常勤）

ウ 知財専門家の活用

窓口支援担当者は、中小企業等の悩みや課題を解決するため、知財専門家と共同して、窓口での相談支援や中小企業等に直接訪問して解決支援を行った。

1) 候補者の選定

知財専門家の選定にあたっては、弁理士、弁護士及び産業財産権に関する高度かつ専門的知見を有する知財OBや中小企業診断士等、当協会が保有する人材データベースや特許庁その他支援機関が保有する人材データベースを活用し、課題解決に適した人材を選定した。

なお、窓口常駐専門家は、関東経済産業局から指定された専門家（弁理士、弁護士）を活用した。

2) 活動概要

知財専門家は、窓口支援担当者、支援機関等と十分な打ち合わせ（課題の把握、支援先企業の状況等）を行った上で、事業活動の各段階における様々な課題に対応する解決方法等

について適切な指導・助言を行い、解決支援を行った。

エ 知財アドバイザーの活用

知的財産活用企業の裾野の拡大を図るため、中小企業診断士及び企業OBを知財アドバイザーに選定し、企業を訪問することにより、知的財産活用の重要性の理解や知的財産活用の推進を図った。

オ 支援実績

項目	目標	実績	達成率	前年度実績比	参考(H26年度)
窓口相談受付	1,800件	2,089件	116.1%	113.0%	1,849件
企業訪問	220件	207件	94.1%	96.3%	215件
専門家との共同支援	240件	223件	92.9%	117.4%	190件
専門家派遣	120件	94件	78.3%	116.0%	81件
知財アドバイザー	160件	158件	98.8%	232.4%	68件

カ 電子出願支援用端末機器利用実績

電子出願支援用端末機器利用実績は、67人で、1月当たり約6人が利用している。

職業別では、中小企業の利用が67人中48人(72%)と大部分を占めており、地域別では、電子出願支援用端末機器を設置する静岡市の利用が28人と最も多い。

キ 連携会議の開催状況

支援機関との連携強化を図るため、知財総合支援窓口事業支援機関連携会議を2回開催した。

会議の参加者は静岡県、静岡市、浜松市、沼津市、(公財)静岡県産業振興財団、(公財)浜松地域イノベーション推進機構、東部地域イノベーションセンター、(公社)静岡県国際経済振興会、静岡県商工会連合会、日本貿易振興機構(ジェトロ)静岡貿易情報センター・浜松貿易情報センター、静岡県よろず支援拠点及び当協会から、各機関の管理者や担当者が集まり、本事業の目的を再確認し、それぞれの活動状況や共同支援の実例、課題や問題点、今後の活動方法などについて協議・検討が行われ、より一層連携強化が図られた。

(会議開催日)

第1回 平成27年 6月2日

第2回 平成27年 11月4日

ク 事業の周知、広報活動の実績

1) ホームページの整備

静岡県発明協会のトップページに「知財総合支援窓口」のバナーを設け、主な支援内容とともに、窓口担当者や支援事例の紹介をしている。また、連絡先や案内地図も表示できるようにしており、事業の周知に努めた。

2) 事業内容リーフレット等の作成

見開きA3のリーフレットを、合計5,000部作成、配布した。配布先は、商工会議所、商工会等の支援機関や金融機関等である。

3) 広告媒体の活用

公益財団法人静岡県産業振興財団が発行している「融資・助成金等の手引き」に知財総合支援窓口の紹介について掲載した。

地元民放ラジオ局で、知財総合支援窓口を紹介した。

4. 公報等各種情報提供

①県内の特許公報等分類別動向調査(27.4~28.3)

区分(注1)	A	B	C	D	E	F	G	H	合計
公開特許公報	282	977	100	22	78	667	514	557	3,197
特許公報	202	706	104	14	73	383	467	447	2,396
登録実用新案公報	51	33	3	1	13	8	18	7	134
公表特許公報								1	1
再公表特許公報(注2)	10	30	4		2	51	30	16	143
合計	545	1,746	211	37	166	1,109	1,029	1,028	5,871

(注1) A=生活必需品. B=処理操作・運輸. C=化学及び冶金. D=繊維及び紙

E=固定構造物. F=機械工学・照明・加熱・武器・爆破. G=物理学. H=電気

(注2) PCT(国際特許協力条約)に基づく国際出願の内容を日本語で公表した公報

②先行技術調査の奨励

特許や実用新案の出願時における事前調査並びに特許審査請求時における事前調査を奨励、実施した。

③特許公報類の検索・閲覧サービス

特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)を活用した特許情報の検索・閲覧サービスを行った。

5. 知的財産権に係わる人材育成等セミナー・講演会・交流会

研究者や企業関係者等を講師に迎えた講演会を開催し、講師との交流や実践的な連携により、県内企業の知的財産権に係る啓発と利活用の促進を図った。

ア 研究会活動 「産業財産権関連実務研究部会(通称:パテント部会)」

県協会会員の産業財産権関連実務の向上を目的として、毎月第3水曜日に会員による事例発表や弁理士等による実務講演会並びに工場見学等を開催し、産業財産権に関わる実務の研鑽に努めた。

回数	月 日	講演会・研究会等	参加者	会場
第1回	4月8日	(1)パテント部会年次報告 平成26年度活動報告・平成27年度事業計画 幹事紹介 (2)講演「企業活動を分かり易く効果的に伝える為の 技術・デザイン」 講師:静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾氏 (3)知財総合支援窓口の事業説明と利用状況 説明者 窓口支援担当 宮枝 清美氏	26名	ペガサート
第2回	5月20日	1の島 演習 「特許ことはじめ#1 発明のとらえ方入門」 進行:特許流通アドバイザー 風間 泰寛氏 2の島 講座・演習 『チャレンジ 明細書-島』前編 進行:東山特許事務所 弁理士 東山 喬彦氏	14名 27名	ペガサート
第3回	6月29日	記念講演会 「アイデアから商品化へのポイント」 講師:(株)日曜発明ギャラリー代表取締役小林豊博氏	25名	県産業経済会館

第4回	7月15日	1の島 演習 「特許ことはじめ#2 特許調査入門」 進行:石垣パテントサービス 石垣 明彦 氏 キヤノン(株) 小島 博美 氏	19名	ペガサート
		2の島 講座・演習 『チャレンジ 明細書-島』後編 進行:東山特許事務所 弁理士 東山 喬彦 氏	17名	
第5回	9月16日	勉強会 「特許の中間処理を学ぶ 第一回審査基準理解編: 審査官の立場で拒絶理由通知を考えてみよう!」 進行:AGCテクノグラス(株) 久野 一秀 氏 石垣特許事務所 弁理士 石垣 春樹 氏	17名	ペガサート
第6回	10月21日	勉強会 「特許の中間処理を学ぶ 第二回拒絶応答編: 出願人の立場で拒絶理由通知の対応を考えてみよう!」 進行:AGCテクノグラス(株) 久野 一秀 氏 石垣特許事務所 弁理士 石垣 春樹 氏	19名	ペガサート
第7回	11月20日	見学会 ①日本軽金属(株) ②ファナック(株)	20名	清水区、 山梨県南都 留郡
第8回	12月16日	(1)講演会 「商標マネジメント ～担当者が理解しておくべき商標実務上のポイント～」 講師:アリスト特許事務所 所長 弁理士 橋本政美氏 (2)企業紹介 講師:株式会社ノダ 製品開発部 知的財産課 係長 金田 俊哉 氏	26名	ペガサート
第9回	2月24日	勉強会 「特許法35条(職務発明制度)の改正法対応」 進行:株式会社巴川製紙所 中村 仁 氏	26名	ペガサート
第10回	3月16日	勉強会 「判例を学ぶ・特許の侵害訴訟を議論しましょう」 進行:アウル国際特許事務所 弁理士 長谷川和家氏	24名	ペガサート

イ 知的財産活用基本セミナー「知財管理ことはじめ」

参加者のビジネスの内容、企業規模、知財への関わり程度等を考慮して、企業の現状の問題点、課題等を見つけ出し、討論形式により、その企業にふさわしい知財管理を探し出す。

回数	月 日	講演会・研究会等	参加者	会場
第1回	12月16日	「社内の発明やノウハウなどの収集と整理 ～知財活用のためのリストとファイリング～」 講師:元旭テック(株) 鈴木 直博 氏	11名	ペガサート
第2回	2月24日	「社内の発明やノウハウなどの収集と整理 ～知財活用のためのリストとファイリング・パートII～」 講師:元旭テック(株) 鈴木 直博 氏	12名	ペガサート

ウ 特許セミナーの開催

項 目	実施日	参加者	会場
特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)個別説明会	平成27年11月26日	23名	ペガサート

エ 知的財産権説明会（発明推進協会への協力事業）

項目	実施日	会場	参加者
特許法等改正説明会	平成27年 9月10日	静岡県産業経済会館	100名
初心者説明会	平成27年 9月15日	静岡商工会議所	157名
実務者説明会	平成27年10月27日	アクトシティ浜松	64名
	平成27年12月22日	アクトシティ浜松	68名

6. 会議等

- (1) 会計監査 平成27年 5月 8日 当協会
- (2) 総会 平成27年6月29日 静岡県産業経済会館
- (3) 理事会 平成27年5月22日 静岡県産業経済会館
平成28年1月25日 静岡県産業経済会館
- (4) パテント部会幹事会
平成27年4月8日 他8回
- (5) 関東地方発明表彰地方選考委員会
平成27年8月28日 宇都宮東武ホテルグランデ
- (6) 関東地方発明表彰式典
平成27年11月13日 宇都宮東武ホテルグランデ

7. 機関誌「知財情報しずおか」の発行

- 平成27年6月1日 2015 VOL. 2 No. 17
- 平成27年9月1日 2015 VOL. 2 No. 18
- 平成27年12月1日 2015 VOL. 2 No. 19
- 平成28年3月1日 2015 VOL. 2 No. 20

貸借対照表

一般社団法人静岡県発明協会

平成 28年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,944,122	9,100,617	2,843,505
未収入金	15,481,412	16,582,463	▲ 1,101,051
流動資産合計	27,425,534	25,683,080	1,742,454
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
発明奨励等助成金	9,254,390	14,341,063	▲ 5,086,673
退職給付引当資産	5,134,694	4,803,044	331,650
特定資産合計	14,389,084	19,144,107	▲ 4,755,023
固定資産合計	14,389,084	19,144,107	▲ 4,755,023
資産合計	41,814,618	44,827,187	▲ 3,012,569
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	579,391	477,195	102,196
前受金	20,000	0	20,000
預り金	971,488	922,535	48,953
短期借入金	5,680,000	7,870,000	▲ 2,190,000
未払消費税	789,000	1,294,400	▲ 505,400
未払法人税等	287,200	462,600	▲ 175,400
流動負債合計	8,327,079	11,026,730	▲ 2,699,651
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,134,694	4,803,044	331,650
固定負債合計	5,134,694	4,803,044	331,650
負債合計	13,461,773	15,829,774	▲ 2,368,001
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
発明奨励等助成資産	9,254,390	14,341,063	▲ 5,086,673
指定正味財産合計	9,254,390	14,341,063	▲ 5,086,673
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(9,254,390)	(14,341,063)	(▲ 5,086,673)
2. 一般正味財産	19,098,455	14,656,350	4,442,105
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	28,352,845	28,997,413	▲ 644,568
負債及び正味財産合計	41,814,618	44,827,187	▲ 3,012,569

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

平成 27年4月1日～平成 28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	[3,242,500]	[3,339,676]	[▲ 97,176]
法人受取会費	2,435,000	2,537,392	▲ 102,392
個人受取会費	737,500	717,284	20,216
賛助会員受取会費	70,000	85,000	▲ 15,000
② 事業収益	[46,207,045]	[49,896,016]	[▲ 3,688,971]
発明奨励事業収益	400,000	400,000	0
情報サービス複写事業収益	80,020	90,775	▲ 10,755
情報サービス刊行物事業収益	100,299	109,673	▲ 9,374
情報サービス検索事業収益	0	11,000	▲ 11,000
都道府県受託収益	9,370,277	9,370,699	▲ 422
局受託収入・特許等活用支援事業	36,007,671	39,599,967	▲ 3,592,296
特許庁請負事業収益	248,778	313,902	▲ 65,124
③ 受取発明奨励等	[5,136,673]	[5,565,981]	[▲ 429,308]
受取表彰発明奨励等	50,000	50,000	0
受取助成金振替額	5,086,673	5,515,981	▲ 429,308
④ 雑収益	[743,705]	[1,777,616]	[▲ 1,033,911]
受取利息	6,649	6,855	▲ 206
雑収益	737,056	1,770,761	▲ 1,033,705
経常収益計	55,329,923	60,579,289	▲ 5,249,366
(2) 経常費用			
① 事業費	[50,645,384]	[54,784,180]	[▲ 4,138,796]
発明奨励発明展事業費	2,132,643	2,288,009	▲ 155,366
発明奨励表彰式事業費	1,721,421	1,761,334	▲ 39,913
発明普及会員管理費	88,022	181,951	▲ 93,929
特許制度普及事業費	1,232,609	1,466,638	▲ 234,029
特許情報発信事業費(複写事業)	1,560	25,317	▲ 23,757
特許情報発信事業費(刊行物事業)	74,749	66,319	8,430
特許情報発信事業費(情報検索事業)	0	820	▲ 820
都道府県受託事業費	9,370,277	9,370,699	▲ 422
特許等活用支援事業	36,007,671	39,599,967	▲ 3,592,296
特許庁請負事業費	16,432	23,126	▲ 6,694
② 人件費	[941,214]	[1,376,221]	[▲ 435,007]
給料手当	429,624	638,670	▲ 209,046
法定福利費	151,796	412,340	▲ 260,544
退職給付費用	331,650	281,050	50,600
福利厚生費	28,144	44,161	▲ 16,017
③ 事務費	[2,044,968]	[3,898,847]	[▲ 1,853,879]
水道光熱費	139,815	844,693	▲ 704,878
通信費	195,702	199,521	▲ 3,819
賃借料	449,820	449,820	0
旅費交通費	21,370	37,800	▲ 16,430
消耗品費	230,895	389,989	▲ 159,094
図書費	700	16,900	▲ 16,200
会議費	192,802	281,356	▲ 88,554
支払手数料	361,422	402,567	▲ 41,145
諸会費	64,500	64,500	0
租税公課	16,811	906,290	▲ 889,479
保守料	219,240	116,640	102,600
広告宣伝費	0	4,320	▲ 4,320
雑費	151,891	184,451	▲ 32,560
④ 他勘定振替	[▲ 3,030,948]	[▲ 3,333,330]	[302,382]

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

平成 27年4月1日～平成 28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
他勘定振替	▲ 3,030,948	▲ 3,333,330	302,382
經常費用計	50,600,618	56,725,918	▲ 6,125,300
当期經常増減額	4,729,305	3,853,371	875,934
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	4,729,305	3,853,371	875,934
法人税、住民税及び事業税	287,200	462,600	▲ 175,400
当期一般正味財産増減額	4,442,105	3,390,771	1,051,334
一般正味財産期首残高	14,656,350	11,265,579	3,390,771
一般正味財産期末残高	19,098,455	14,656,350	4,442,105
II 指定正味財産増減の部			
① 一般正味財産への振替額	[▲ 5,086,673]	[▲ 5,515,981]	[429,308]
一般正味財産への振替額	▲ 5,086,673	▲ 5,515,981	429,308
当期指定正味財産増減額	▲ 5,086,673	▲ 5,515,981	429,308
指定正味財産期首残高	14,341,063	19,857,044	▲ 5,515,981
指定正味財産期末残高	9,254,390	14,341,063	▲ 5,086,673
III 正味財産期末残高	28,352,845	28,997,413	▲ 644,568

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (3) 固定資産の減価償却の方法
該当資産無し
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため期末時点における職員に対する退職給与の自己都合要支給額を計上
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
発明奨励等助成特定資産	14,341,063	0	5,086,673	9,254,390
退職給付引当資産	4,803,044	331,650	0	5,134,694
合 計	19,144,107	331,650	5,086,673	14,389,084

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
特定資産				
発明奨励等助成特定資産	9,254,390	(9,254,390)	(—)	(—)
退職給付引当資産	5,134,694	(—)	(—)	(5,134,694)
合 計	14,389,084	(9,254,390)	(0)	(5,134,694)

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

補助金等の名称	金 額
経常収益への振替額	
特定資産取崩収入	5,086,673
合 計	5,086,673

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2において記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,803,044	331,650	0	0	5,134,694

財産目録

一般社団法人静岡県発明協会

平成28年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金	運転資金として 源泉徴収税等	10,972,634 971,488
		静岡銀行 本店 静岡銀行 本店		
	未収金	静岡県	知的財産流通促進事業費残額	1,370,277
		関東経済産業局 一般社団法人発明推進協会	特許等取得活用支援事業費残額 ワンストップサービス協力金	14,109,135 2,000
流動資産合計				27,425,534
(固定資産) 特定資産	発明奨励等助成資産	静岡銀行 本店	発明奨励事業等に使用	9,254,390
	退職給付引当資産	定期預金 静岡銀行 本店	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	5,134,694
固定資産合計				14,389,084
資産合計				41,814,618
(流動負債)	未払金	静岡年金事務所 補助員	3月分社会保険料	231,098
		窓口担当者	関東経済産業局特許等取得活用支援事業費人件費	101,250
		(株)TOKAI他	関東経済産業局特許等取得活用支援事業費人件費	236,000
		キャノンマーケティングジャパン(株)	2月3月分プロバイダ料金	3,877
			コピー料金	7,166
	前受金	坂中 保弘他1名	28年度個人会員会費	20,000
	預り金	静岡銀行 本店	源泉徴収税等	971,488
短期借入金	静岡銀行 本店	借入金	5,680,000	
未払消費税	静岡税務署	27年度消費税	789,000	
未払法人税等	静岡税務署	27年度法人税	287,200	
流動負債合計				8,327,079
(固定負債)	退職給付引当金	定期預金 静岡銀行 本店	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	5,134,694
固定負債合計				5,134,694
負債合計				13,461,773
正味財産				28,352,845

監査報告書

平成27年度事業報告並びに正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録を監査した結果、定款及び各規定に基づいて適正かつ正確に処理されていることを確認致しました。

平成28年5月9日

監事

石田



監事

中村

